



求人ボックス

2025年7月23日
株式会社カカクコム

**求人情報の一括検索サービス「求人ボックス」、
役所広司さん・蒔田彩珠さん・ダイアン津田篤宏さんを起用した
新CMを7月23日（水）より公開！
仕事探しをサポートする「ミスター・ボックス」が渋谷の街と飛行機の翼に登場！？**

株式会社カカクコム（本社：東京都渋谷区 代表取締役社長：村上 敦浩）が運営する求人情報の一括検索サービス「求人ボックス（<https://求人ボックス.com/>）」は、2025年7月23日（水）、新たなCMを公開します。今回は、前回のCMよりご出演いただいている俳優の役所広司さんに加え、俳優の蒔田彩珠さん、お笑い芸人のダイアン津田篤宏さんが新たに登場します。

新CMギャラリー：<https://求人ボックス.com/brand/gallery>



あなたの明日が、詰まっている。 

今回の新CMについて

掲載数2,000万件超の豊富な求人情報を細かなニーズに合わせて一括検索できる「求人ボックス」をより多くの方に知っていただくため、「あなたの明日が詰まっている。」をブランドメッセージに展開する、新たなCMを公開します。

仕事探しに悩む人を支える存在として描かれる「ミスター・ボックス」に扮した役所さんが、“明るい未来”や“豊富な仕事”が詰まっている青色の箱「求人ボックス」を、届けることで、全ての求職者の味方である求人ボックスの存在を表現した内容となっています。

「増殖」篇・「飛行機」篇の2種類のCMをテレビ・YouTubeなどでご覧いただけます。

■CM 映像

① 「増殖」篇 30 秒



② 「飛行機」篇 30 秒



※15 秒篇を含む各篇は CM ギャラリーからもご覧いただけます

URL : <https://求人ボックス.com/brand/gallery>

■CM カット画像



「増殖」篇



「飛行機」篇

■撮影エピソード・インタビュー■

<撮影エピソード>

初日の「飛行機」篇の撮影では、少し緊張した様子でスタジオ入りをしたダイアン津田さんでしたが、撮影が始まると監督の要求に応えながら絶妙な表情演技を披露。グラフィック撮影時には「ゴイゴイスー」のポーズでひと笑い起こる場面もありました。ミスター・ボックスを演じる役所さんは、ワイヤーを使用したダイナミックな飛行シーンに挑戦。身体を宙に浮かせた状態で演技をする難易度の高い撮影では、終始表情や目線、手の動作といった細部にまでこだわる姿勢から、役者としての信念が伝わってきました。

2日目の「増殖」篇の撮影では、ミスター・ボックス役の20名を含む総勢200名以上のエキストラの協力のもと、周囲をグリーンバックで囲まれたスタジオで渋谷の雑踏を再現。何人ものミスター・ボックスが向かってくるシーンを撮影するために、役所さんが様々な立ち位置からカメラに向かって何本もダッシュを繰り返しましたが、疲れた表情を一切見せずに走り切りました。また、撮影の間には、役所さんと蒔田さんが笑顔で談笑する場面もあり、和気あいあいとした雰囲気の中で撮影が進みました。

2日間にわたる撮影の後半は、監督から「OK！」が出るたびに現場では大きな拍手が巻き起こり、一体感のある雰囲気の中で撮影を終えました。

<役所さんインタビュー>

Q1. 今回のCM撮影の感想を教えてください。

今回は前回よりもはるかに時間がかかっています。監督が粘りますからね（笑）。時間をかけて撮ったいろいろな素材を組み合わせると、どういう世界（映像）になるか楽しみです。

Q2. 共演された方々との掛け合いで、特に印象に残っていることはありますか？

津田さんは、ちょっとしたリアクションでもユニークで、笑いのパワーがすごいなと思いました。

蒔田さんは、非常にかわいらしくて、監督からも「恋人との別れみたいな感じで演技して」という注文もありましたが、ちょっと照れくさかったです（笑）。

Q3. 役所さんがミスター・ボックスのように「誰かを支える存在」として意識された経験はありますか？

僕は本当にいろいろな人に支えられて生きてきたと思っていますが、家族のことは支えたいと思っています。仕事場でも、会社のスタッフとの関わりでも、自分が一生懸命やっている姿を見て周りのみんなの士気や、やる気が上がるといういなとも思っています。

Q4. 多くの作品に出演されてきた中で、特に自分自身の価値観に影響を与えた出会いや出来事があれば教えてください。

自分が出演した作品一つ一つが大切に、一つ欠けても今の自分はないと思っていますが、一番最近で言うと、『PERFECT DAYS』という映画がありました。通常の商業映画として企画が立ち上がったわけではなかったので、映画館で上映されるかもわからない状況でしたが、企画内容が素晴らしいと感じ参加しました。『PERFECT DAYS』は、結果として映画館でも上映され、世界中の映画祭にも行けて、貴重な経験をしました。新しい発想で自分たちがつくりたいものをつくるという想いは、観客の人たちにも伝わるんだなと思いました。

Q5. このCMを通じて、仕事探しをされる皆さんにどんなメッセージを届けたいですか？

仕事を探している人は、自分に向いたものがないなと不安かもしれないですが、探してみると何かすごい出会いがあるのではないかと思います。また、相性が悪かったり、この仕事はやっぱり向いていないと思ったら、新たなことに挑戦するというのは決して無駄ではないと思います。素晴らしい出会いのために常にアンテナを張っておいてほしいです。

<蒔田さんインタビュー>

Q1. 撮影はいかがでしたか？印象に残っていることがあれば教えてください。

背景が全部グリーンバックでの撮影が初めてだったので、このグリーンバックが渋谷になるんだと思うと、どんな映像の仕上がりになるのか楽しみです。

Q2. ミスター・ボックスが寄り添ってくれる存在として描かれていますが、蒔田さんご自身が「誰かに寄り添ってもらえた」と感じたエピソードがあれば、教えてください。

お仕事をしていた一番寄り添ってくれているのは母ですね。仕事をして家に帰って、今日あった出来事を話すと、母は全て肯定してくれます。今までは恥ずかしくてやっていなかったのですが、最近はセリフを覚えるのを母に手伝ってもらおうようになりました。

Q3. 役所さんとの共演で、印象に残っているシーンや言葉、やり取りはありましたか？

お会いするのは今日が初めてだったのですが、すごく柔らかくてニコニコしている方だなというのが印象です。セリフを間違えた時に、舌をペロツと出すのがすごくかわいらしかったです（笑）。

Q4. もし俳優という道を選んでいなかったとしたら、どんな仕事をしてみたいと思いますか？

俳優になっていなかったとしても、カメラマンであったり、監督であったり、何かしらの形では芸能

に関わるお仕事をしていきたいと思っています。

Q5.これから新たな一步を踏み出そうとしている方に向けて、メッセージをお願いします。

私の場合は、新しいドラマや映画の撮影が始まる前は、すごく緊張して「大丈夫かな」って不安になるのですが、新しいことを始める前には、実は支えてくれている人だったり、応援してくれている人がいます。一人じゃないということを忘れないで一步を踏み出してほしいです。

<ダイアン津田さんインタビュー>

Q1.役所さんとの共演で、印象に残っているシーンや言葉、やり取りはありましたか？

飛行機の窓越しにいつも映画で見ている役所さんがいるということで、迫力がありました。「負けたまるか！」という気持ちで、役所さんから目をそらさなかったです！

Q2.今回の CM 撮影、思わずツッコミたくなるようなシーンも多かったと思いますが、率直にいかがでしたか？

役所さんが飛行機の翼の上に立っているシーンがあるのですが、「そんな緩やかな風なわけないやんけ」と思いました（笑）。スピードは 500km ぐらい出ている設定だと思うので、ブワーっとなっているはずなんですけど、そよ風みたいな感じでかっこよく立っていたので、さすがやなと思いました。

Q3.求人ボックスでは、こだわり検索で様々なキーワードから求人を探することができます。津田さんなら、どんなキーワードで仕事を探してみたいですか？

やっぱり得意なことを生かしたいので、「ツッコミ」とか「大声」とかそういったワードで検索してみたいです！

Q4.求人ボックスで仕事を探している皆さんに向けて、「働くこと」や「挑戦すること」について津田さんからメッセージをお願いします。

働くことは大事なので、求人ボックスで仕事を見つけてぜひ働いてください。悩んでいる方、今の仕事を変えたいなと思っている方、次の仕事に挑戦することは素晴らしいことです！どうしても見つからなかったら俺にちょっと声をかけてもらったら、紹介することもね、できないですけども...（笑）求人ボックスで必ず見つかるので、働いて挑戦しましょう！

Q5.CM では「見えないものが見える」という世界観ですが、津田さんが「今見えるようになったら嬉しいもの」は何ですか？

こういった CM 撮影の現場では、誰が偉い方なのか分からないことが多いので、誰かお偉いさんなのか頭の上で光って見えるようになったら嬉しいです（笑）。

Q6.芸人としていろんな壁にぶつかってきたと思いますが、「こんなときこそ笑っとけ！」みたいな、津田さん流の前向きスイッチの入れ方ってありますか？

日々壁にぶつかりますよ。ウケへんかったとか、あの時言っとけばというワードが後から出てくる。そんな時は、どうぞ熱いシャワーを浴びてください！バァーっと熱いシャワー浴びて、その後もう冷たい水がぶったら全て忘れてますよ。ぐっすり寝てください。寝たら全て解決します！

<プロフィール情報>**出演：役所 広司（やくしよ こうじ）さん**

1956年1月1日生まれ。長崎県諫早市出身。

83年、NHK大河ドラマ『徳川家康』で織田信長役を好演し、脚光を浴びる。

85年、故・伊丹十三監督の『タンポポ』に出演。その後もテレビドラマ、映画などに数多く出演する。

95年に主演した『KAMIKAZE TAXI』では、毎日映画コンクール 男優主演賞を受賞。

96年には『Shall we ダンス?』『眠る男』『シャブ極道』で国内の映画賞で主演男優賞を独占。

その後も多岐に渡る出演作品に出演し、数多くの賞を受賞。近年では、映画

『すばらしき世界』（21）、『銀河鉄道の父』（23）、ドラマ『THE DAYS』（Netflix）、日曜劇場『VIVANT（ヴィヴァン）』（TBS）などの話題作に出演。

23年に公開された『PERFECT DAYS』では第76回カンヌ国際映画祭 エキュメニカル審査員賞のほか、コンペティション部門において最優秀男優賞を受賞。また、第47回日本アカデミー賞 最優秀主演男優賞、第97回キネマ旬報ベスト・テン 主演男優賞(共に4度目の受賞)など、国内外の数々の映画賞を受賞し、名実ともに日本を代表する俳優の一人として活躍している。

**出演：蒔田彩珠（まきた あじゅ）さん**

2002年8月7日生まれ、神奈川県出身。ドラマ『ゴーイングマイホーム』（フジテレビ系）でデビュー。その後も映画『海よりもまだ深く』（16）、『三度目の殺人』（17）、『万引き家族』（18）など多くの是枝裕和監督作品に多数出演。

初主演となった映画『志乃ちゃんは自分の名前が言えない』（18）では第45回報知映画賞助演女優賞などを受賞。その後の2020年『朝が来る』でも第44回日本アカデミー賞新人俳優賞など様々な賞を受賞し注目を浴びる。

昨今では、『おかえりモネ』（2021年前期 NHK 連続テレビ小説）や主演ド

ラマ『わたしの一番最悪なともだち』（NHK 総合、23）、『忍びの家 House of Ninjas』（Netflix、24）など数多くの作品に出演。今年、TBS『御上先生』やNTV『DOCTOR PRICE』に出演するなど、今後の活躍が期待される。



出演：ダイアン・津田 篤宏（つだ あつひろ）さん

1976年5月27日生まれ。滋賀県愛知郡出身。

NSC大阪校を経て、2000年、中学校の同級生のユースケとダイアンを結成。

大阪・baseよしもとの中心メンバーとして活動して、2007年から2年連続で『M-1グランプリ』決勝進出。

関西の番組で腕を磨き、芸歴18年目の2018年4月に東京へ上京。同年、

『上方漫才大賞』大賞を受賞した。2023年7月には、フジテレビ『FNS27時間テレビ 鬼笑い祭』で千鳥、かまいたちと総合司会を務める。

現在、多数の番組にレギュラー出演をし、お茶の間の人気者となる。

**「求人ボックス」について**

カカクコムが展開する求人情報の一括検索サービス「求人ボックス」は、サービス開始10周年を迎えた2025年にブランドリニューアルを実施。新たなブランドメッセージ「あなたの明日が、詰まってる。」とともにブランドロゴの刷新を行いました。

求人掲載数は2,000万件以上。全国の求人情報から、キーワード、給与、勤務地、こだわり条件などから求人情報を簡単に検索でき、気になる求人があればすぐに応募も可能。独自の求人統計データや豊富な記事コンテンツも備え、一人一人に合った仕事探しをサポートしています。また、パーソナライズされた求人情報の通知や、会員登録（無料）によるプロフィールの保存、転職サポート機能などもご利用いただけます。

こうした細かなニーズに合わせて検索できる点が評価され、若年層からシニア層まで月間1,200万人以上の方々にご利用いただいています（2025年3月実績）。

求人ボックスでは、今後も機能の拡充と情報の充実に取り組み、求職者と企業をつなぐ情報プラットフォームとして、より一層価値のあるサービスを提供してまいります。

【株式会社カカクコム 会社概要】

所在地：東京都渋谷区恵比寿南3丁目5番地7 デジタルゲートビル

代表取締役：村上 敦浩

事業内容：サイト・アプリの企画運営、各種プラットフォームの提供

当社運営サイト：<https://corporate.kakaku.com/company/service>